

ikuiku * ikuiku * ikuiku

育育手帖

～子育て中のおうちのかたへ～

その2



育児手帖その1を作るとき
入園前の不安や悩みが少しでも和らいたら……
少しでも安心してスタートすることにつながったら……
という思いがありました

入園前に手に取った保護者の方から
「悩んでいるのは1人じゃないとホッとしました」
「無理にトイレトレーニングをしなくてよって書いてあって安心しました」
「あったかい気持ちになりました」などの言葉とともに
「もっと具体的に知りたかった」
「先輩の保護者の方にもお話を聞いてみたい」
という声もありました
さらには「入園してみて気づいたこと、分かったこともありました」
という声も聞かれました

入園前後の保護者の方の様々な思いを感じられ
対話のきっかけとなったことを嬉しく思います

入園前は不安で全部知りたい 答えてもらいたい
そういう気持ちがあるのではないのでしょうか？

でも幼稚園は それまでの育ちの違う子ども
まだ出会っていない子どもに対して
ぴったりあてはまる答えをお示しできるのかな
と考えてしまうことがあります

まずは幼稚園と出会って お互いを知り合って
それからたくさん会話して
子どもの育ちを一緒に見守っていきませんか？

『**育育手帖その2**』は
保護者から語られた思いや子どもの姿に
幼稚園の思いを重ねました

子どもも 親も 保育者も
みんな心地よく みんなで育っていきたい
そんな思いを込めてこの冊子をお届けします



お子さんの0歳 1歳 2歳の頃を思い出してみましょう



ミルクから離乳食 そして親と同じ食事を取れるようになりました
ハイハイができ 立ち上がり 歩いて走るようにもなりました
言葉も少しずつ出てきて いつの間にかこんな言葉を覚えたの？
とびっくりすることもあるでしょう



そう 少しずつ育ってきているのです
少し育つと 次は？ 次は？と
思ってしまうこともあるかもしれません

2歳を過ぎると 興味のままだにずっとそこを見ていたり
そうかと思うと いきなり違うところに行ったり
いつも同じ服を着たがったり
晴れていても長靴を履きたがったり
そういうことはありませんでしたか

子どもは思いついたままに動きますね
夢中になること 試してみること 主張してみることに
どれも大事な経験をしています

その続きにいる3歳です
子どもの成長はつながっています
いろいろな人 場所 物との出会いを通して
少しずつ変わっていくのです

今が それまでの生活とのつながりにあることを心にとめて
ページをめくってみてください



- はじめに
- 0・1・2歳の頃
- 入園した頃
- 幼稚園で
- しばらく経って
- 幼稚園より



入園した頃を思い返して…

こんな姿・こんな気持ちでした

「ずっといて」～登園時～

入園前、どこへ行ってもずっと親子一緒でした。
あまり先のことは考えず
「周りの環境や先生に頼ろう。
なるようにしかならない！」
と思って入園しました。
でも、いざ通い始めると
子どもから「ずっといて」と言われ、
「どうしよう…ずっとこのままかな」と不安に…
先生に「様子を見ていてください」と言われ、
子どもが先生に抱っこされて過ごしているのを
離れて見ていました。
しばらく経つと、子どもが自分から
「いなくても大丈夫」と言って、遊び出しました。

5月には、裸足で遊ぶ姿を見ました。
幼稚園で自分が出せるようになったんだな、
環境や先生の存在が大きいな、
と感じます。

～園より～

一人ひとりその人なりの
やり方で、リズムで、
家庭と園がゆるやかに
つながっていくといいな
と思っています。

「今日も一人だった」～母の不安～

初めての集団生活。
友達と仲良くできるか、楽しめるか、
トラブルが起きたら…？と母が不安でした。
入園後、子どもの「今日も一人だった」
の言葉によけい心配に。
でも、先生から声をかけてもらい、話をして、
様子が分かって安心していきました。

子どもが「もっと幼稚園で遊びたい」
と言うのが嬉しく、
自分で居場所を作っていったなと感じます。
大人はもっと安心して
送り出すことが大事だな、と思っています。

～園より～

お母さんと担任が
つながっていると
子どもたちも
ほっとするようです。
一緒に悩み、一緒に喜びながら
子どもたちの育ちを
支えていきたいですね。